

2-9 私の進路計画

進路の計画

1. 題材設定の理由

前時(2-8)では、2年生で学習したことを総合して、自分の進路に対する考え方をまとめる学習を行った。それを受けて、本時は中学を卒業してからの自分の進路計画を立てさせたいと考えて、この題材を設定した。進路計画については1年生でも学習しているが、1年間の学習によってさらに広く、深く、意識付けがされたと考えられる。

そこで2年生の進路学習のまとめとして、進路計画を立て、1年生での考えと比較するとともに、3年生での生活・学習に生かしていきたいと考えている。そのために2年生の進路学習の出口として、「3年生に向かってどのようなことを頑張っていけばよいと思いますか」という題で作文を書かせたい。自分の進路を見据えた上で、努力するところを明らかにしていくことは大切であるとする。

2. 指導のねらい

中学卒業後の自分の進路計画を年齢を追って具体的に立てていくことによって、見通しをもつとともに、3年生に向けての自分の思いを作文に書かせ、将来の決意を持たせることができる。

3. 指導計画(全1時間)

事前	・2-8を振り返り、自分の考えを確認する。
本時	・自分の進路計画を、年齢を追って具体的に立てる。 ・3年生に向けての自分の考えを作文に書く。
事後	・保護者の方に進路計画や3年生に向けての作文を見ていただき、言葉をP.41③に書いていただく。

<説話例>

わたしが大学生の時のことです。サークルに新入生が入ってきました。ところがその新入生はけっこうな歳だったんです。よく聞いてみると28歳で、高校を出て就職した仕事しておられたのですが、どうしても高校の先生になりたいという思いが捨てきれず、会社を辞めて大学を受験したのだそうです。その人は受験に際して相当勉強されたようだし、大学の講義を受ける時も真剣そのものでした。ここで何が言いたいかというと、今考えている進路が絶対的なものではないということです。

ある人は今、野球選手になろうと計画を立てているけれど、来年になったら変わっているかもしれない。先ほど話した人のように、途中で大きく進路変更する人だっている。同じ中学の先生だって歩んできた道はいろいろです。しかし、こうして進路について考えておくことは決して無駄にはなりません。考えてきたことを応用して、新たな方向に見通しをもって進めばいいからです。その人は教員採用試験にも合格して、現在は高校の先生として教壇に立っています。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・中学校を卒業してから将来考えている職業に就くまでには、いろいろなコースがあることが理解できる。	◎中学を卒業してから職業に就くまでには、どんなコースがあるかを発表する。 中学 → 全日制・定時制高校 → 大学・短大 → 就職 中学 → 全日制・定時制高校 → 就職 中学 → 専修学校 → 就職 中学 → 就職	・はじめは生徒に知っているコースを発表させる。 ・資料編(P.75~78)について補足・説明する。	・資料編 P.75~78 参照
課題：中学卒業後の自分の進路計画を立ててみよう。				
中心の活動	・モデルコースを参考にして、自分の進路計画を立てることができる。	◎自分がめざすコースは、年齢で見たととき、どのようになるかを知る。 ◎自分の進路計画をP.40①に記入する。 ・「看護師」「建築士」の例を参考にして自分の進路計画を書き込んでいく。 ＜調理師を希望する生徒の例＞ 中学卒業 → 調理専門学校に進み技術を身に付けるとともに調理師の資格を取得する → 中華料理店に就職し腕を上げる → 自分の店をもつ ＜自動車整備士を希望する生徒の例＞ 中学卒業 → 工業高校の機械科に進み、機械に関する知識と技術を身に付ける → 自動車整備工場に就職し、自動車整備の仕事しながら3級自動車整備士の資格を取るために学習する → 3級自動車整備士の資格を取得後は、より専門的な知識や技術を身に付け、3年後には2級自動車整備士の試験を受験し、資格を取得する → 車に乗る人が安全、快適に運転できるように自動車整備を行う	・資料編を使って、コースとその時の年齢について説明する。たとえば、高校卒業だと18歳などの目安がわかるようにする。職業に就いてからも、何を目標に頑張りたいのか、どんな思いで仕事をしていきたいのかを書かせる。 ・はじめに書き方について「看護師」の例を使って説明していく。	・P.40①
まとめの活動	・「夢に向かって」の作文を書き、自分の決意をもつことができる。	◎「夢に向かって」の作文をP.41②に書く。 ・自分が計画した進路をとっていくために今の自分を振り返り、どんな点がよくなってきたか、またどんな点において努力が必要であるかなどを考えて書く。 ◎P.39③や、P.40①の進路計画を見せ、保護者の方にご意見を書いていただき、提出できるように生徒に伝えて終了する。	・静かに自分を振り返らせ、書かせるようにする。 ・説話をする。	・P.41② ・P.41③